

1 昨年10月末に発表された在日米軍再編「中間報告」のうち、横田基地に関する内容

- **共同統合運用調整の強化**
自衛隊を統合運用体制に変革するとの日本国政府の意志を認識しつつ、在日米軍司令部は、横田飛行場に共同統合運用調整所を設置する。この調整所の共同使用により、自衛隊と在日米軍の間の接続性、調整及び相互運用性が不断に確保される。
- **航空司令部の併置**
現在府中に所在する日本の航空自衛隊航空総隊司令部及び関連部隊は、横田飛行場において米第5空軍司令部と併置されることにより、防空及びミサイル防衛の司令部組織間の連携が強化されるとともに、上記の共同統合運用調整所を通じて関連するセンサー情報が共有される。
- **横田飛行場及び空域**
2009年に予定されている羽田空港拡張を念頭に置きつつ、横田空域における民間航空機の航行を円滑化するための措置が探求される。検討される選択肢には、米軍が管制を行っている空域の削減や、横田飛行場への日本の管制官の併置が含まれる。
加えて、双方は、嘉手納のレーダー進入管制業務の移管プロセスの進捗を考慮する。あり得べき軍民共同使用のための具体的な条件や態様が、共同使用が横田飛行場の運用上の能力を損なってはならないことに留意しつつ、検討される。

※なお、これらの具体的な実施日程を含めた計画は、平成18年3月までに作成することが日米間で確認されています。

2 市が独自に調査した項目と内容 (平成18年1月23日現在)

項目	内容
共同統合運用調整所とは	防空やミサイル防衛などに関する情報を共有することにより、自衛隊と米軍の司令部間の連携の向上を図るために設置するもの。 なお、共同統合運用調整所の「共同」は自衛隊と米軍との共同を、また、「統合」は、日米それぞれが各軍種を統合して運用できるような体制を整備していることを示しており、防衛庁では、陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊を一体的な運用体制を想定した新たな組織が計画されているが、調整所の具体的な組織人員等については決まっていない。
航空総隊司令部の役割・任務はどのようなものか	航空自衛隊航空総隊は日本の防空を主な任務としており、司令部は、防空作戦をはじめとするさまざまな航空作戦の指揮統制(企画・立案等)を担っている。
航空総隊司令部の組織・人員はどのようなものか	現時点では、移駐する部隊や人員などについては決まっていない。現在府中市に置かれている航空総隊には、航空総隊司令部(人員約200人)、航空総隊の作戦情報隊(約300人)、防空指揮群(約100人)が配属されている。
航空総隊司令部等が横田基地に移駐する時期は	現時点では具体的な日程などは決まっていない。今後、日米間で協議し、決定する。

横田基地での演習について

米軍横田基地で2月6日(月)から10日(金) (午前6時～午後10時)の間、大型拡声器及び地上爆発模擬装置を使用する「運用即応演習」が予定されています。

市では、米軍に対し、演習時の大音量のサイレンや模擬爆発音などによる影響が基地外に及ばないよう措置すること等の要請を行っています。※サイレンの吹鳴の際は、確認のうえ、演習であることを防災行政無線でお知らせします。

問合せ秘書広報課基地・渉外担当

● **市の考え方と現状**
市は在日米軍再編の問題については、国の具体的な説明に基づき、市民・議会と情報を共有し、市民の皆様のご意見をお聴きした上で検討し、国と協議をしていく考えです。
しかしながら、国では昨年10月末に発表された在日米軍再編「中間報告」以後、具体的な内容について、説明の機会を設けることができていません。
となく現在に至っています。(1月23日現在)
このままでは市民の皆様からご意見をお聴きする機会を得ないまま、3月末に予定されている最終報告に至ることが懸念されますので、現時点における市独自で調査し、把握した内容をお知らせします。
なお、今後とも新しい情報がわかり次第ホームページ等でお知らせしていきます。

昨年10月に発表された在日米軍再編「中間報告」のうち、横田基地に関する内容についてお知らせします。
問合せ秘書広報課基地・渉外担当 ☎551・1566

在日米軍再編に伴う横田基地の態様の変化について(お知らせ)

ご意見を募集します

市は、在日米軍再編に伴う横田基地の態様の変化についての意見を募集します。ご意見はEメール、郵送、またはファクシミリでお寄せください。

□ Eメール 市のホームページトップページ左側の「市民のご意見箱」から、必ず本文の冒頭に「横田基地について」と明記してお送りください。

□ 郵送 〒197-8501 福生市本町5番地 福生市企画財政部秘書広報課基地・渉外担当あて

□ ファクシミリ ☎553・4451

※ご意見には、住所・氏名・年齢の記入をお願いします。

項目	内容
今回の米軍再編に伴い、横田基地の米軍規模に変化はあるのか	具体的には決まっていないが、横田基地の米軍の人員や規模に大きな変化はない模様。
自衛隊の航空機は横田基地に配備されるのか	航空総隊司令部が横田基地に移駐しても、自衛隊の航空機は常駐しないが、司令官等の移動用航空機が飛来することが想定される。騒音等の影響は少ない模様。 なお、現在、テロ対策特別措置法に基づく支援として横田基地に自衛隊輸送機等が往来しているほか、今後、災害派遣等で自衛隊機が使用されることが考えられる。
日米共同訓練の回数が増加し、飛来機の増加があるのか	航空総隊司令部の移駐自体による実動の日米共同訓練の増加は見込まれていないため、飛来機の増加については現時点では、ほとんどない模様。
在日米軍再編に伴い、地元住民に対する新たな配慮はあるのか	現時点では具体的な内容は決まっていないが、昨年11月に必要な措置について検討することが閣議決定されている。
航空総隊司令部等の移駐に伴って必要になる建物等の建設場所はどこか	具体的には決まっていないが、横田基地内に航空総隊司令部の庁舎、隊舎などの関連施設が整備される予定。
横田基地は嘉手納飛行場等の訓練移転の対象になるのか	現時点で、横田基地は訓練移転先の候補地となっていない。
航空総隊司令部の移駐に伴い、横田基地にミサイルは配備されるか	航空総隊司令部の移駐によって、横田基地にミサイルを配備する計画はない模様。
横田基地の軍民共同利用はどのようになるのか	軍民共同利用については、今後検討されることになる。